

平成31年1月15日

大分三愛メディカルセンター アーチェリーコンパウンド（車椅子）競技 篠原 彩 選手 採用内定のお知らせ

時下、貴社におかれましては益々ご隆昌のこととお喜び申し上げます。

社会医療法人三愛会（本部：大分県大分市 理事長：三島康典）は、公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）が行うトップアスリート就職支援ナビゲーション「アスナビ」※を通じて、アーチェリーコンパウンド（車椅子）競技の篠原 彩（しのはら あや）選手を、大分三愛メディカルセンターの職員として採用致しました。

（入職日：2019年1月1日付）

受傷による障害に挫けることなく、国内外の数々の大会にて活躍を目指す篠原彩選手を法人職員の一員として迎えることは、三愛会の職員の団結力・一体感の熟成を促すと共に、地域の様々な人々にも多大なる希望・夢を抱かせてもらえるものと期待しております。

※アスナビとは

世界を目指すトップアスリートの生活環境を安定させ、競技を安心して続けられる環境を作るため、企業のサポートを望むトップアスリートと、雇用側である企業とのWin-Winの関係をつくることを目的としたJOCの活動です。

Profile

- 篠原 彩（しのはらあや）
- 36歳 大分県大分市在住
- アーチェリー コンパウンド（車椅子）
大分県身体障害者アーチェリー協会所属
- 戦績：2013年10月 全国障害者スポーツ大会優勝
2014年 9月 全国障害者アーチェリー大会4位
2017年 9月 全国障害者アーチェリー大会2位
2018年 3月 ドバイでの世界大会 個人第9位
2018年10月 インドネシアアジア パラ2018 個人2位（銀メダル）
- 27歳で受傷。脊髄損傷により車椅子となる。
翌年からコンパウンドアーチェリーに励む。



■篠原 彩 選手 コメント

この度内定をいただき、ここに至るまでご協力いただきました社会医療法人三愛会様、JOC様、大分県様、日身ア連様に心より感謝申し上げます。8年前に車椅子となり生活は一変し、一時は挫折を味わいましたが、アーチェリーと出会うことができました。大分の地で過ごし、徐々に夢が膨らんできています。

今後は、三愛会職員・大分県民として、世界で活躍できる一流の選手を目指し、夢や希望を与えられるよう成長して参ります。応援の程、どうぞ宜しくお願いします。

■大分三愛メディカルセンターについて



当院は、昭和45年に三愛病院として設立し、2009年に社会医療法人の認可を受け、地域医療の一助となるべく職員一同研鑽を積んでいます。

地域住民の方々から信頼していただける医療を提供すべく、地域の診療所・病院・介護施設との連携を強め、今後も邁進してまいります。

本件に関わるお問い合わせ先

大分三愛メディカルセンター 地域連携センター（担当：秦^{はた}）

電話：097-541-1311 FAX：097-541-5218

Mail：hata@san-ai-group.org